

commitment
to sustainability



ベビー、キッズ、 ファミリーのために

For Babies, Kids
and Families

事業案内

ブランドマーケティング

世界中から優れた商品を輸入することで、日本のファミリーがワクワクするようなライフスタイルの提案をしています。
ブランド一覧は[こちら](#)。



商品開発

ベビー・ペットグッズのディストリビューション事業で培った経験を活かし、日本の子育て事業や生活習慣、気候も配慮したデザインと機能。家族にそっと寄り添う商品、トレンドをのせて海外にもお届けします。

卸売

お客様への総合的コンサルティングをもとに売り場に応じたご提案、イベントやフェアを行っております。

小売

一般のお客様向けに提供。多様なニーズにあわせて、オムニチャネルの利便性を常に向上させています。店舗一覧は[こちら](#)



室内遊び場

ダッドウェイが企画から運営まで手がけるベビー・キッズ向けの[室内遊び場](#)。



アフタースクール

子どもが未来に夢をもって安心して過ごせる『[習いごとのワンストップ型複合施設](#)』を目指します。



飲食

室内遊び場の隣に、子連れでもくつろげる[カフェ](#)を併設。



サブスクリプションサービス

育児用品を月額で利用できるサービス『[famisub! \(ファミサブ\)](#)』を開始。購入前の不安を解消し、初期コストを抑えるメリットをご提供します。

物流倉庫

ダッドウェイディストリビューション事業で培った独自のノウハウを基に[物流倉庫事業](#)を展開。

[物流代行]

入庫・検品入庫から保管・出荷、返品まで物流代行を担います。

[コンサルティング]

物流コストの最適化・設備・装置の選定、アウトソーシング、情報システムの構築など費用対効果をはかりながら、ロジスティクスの構築をお手伝いします。



ソフトウェア開発

多様な事業展開にあわせ、従業員の勤怠管理を支えるクラウドソフトウェアシステム『[ワークウェア](#)』を自社開発。柔軟な働き方のモデル企業として地元の横浜市をはじめ各行政機関から取り上げられています。

企業理念

お父さんの子育てをもっとおもしろ楽しくしたい！
ペットとのふれあいをもっとおもしろ楽しくしたい！

トップメッセージ

企業として、安心して子育てできる環境を
支えるために何ができるか？

代表取締役社長
白鳥 公彦



ダッドウェイは1992年に誕生しました。

創業当時の日本では子育ては母親の仕事だと決めつけられていました。しかし、私はわが子が生まれてまもなく、自然の中に連れ出して、キャンプなどのアウトドア遊びを通じて深く接しました。育児はたいへん忍耐を要する、骨の折れる作業ですが、その苦労をしてもなお余りある喜びと充実感を与えてくれるもの、そして自己を成長させてくれる最高のチャンスなのだと痛感したのです。

「こんな素晴らしい育児を母親だけに任せておくのはもったいない!!」そう思い、私はダッドウェイを設立しました。

以来、世界中からおもしろ楽しい育児用品、知育玩具を探し出したり、オリジナル商品を企画しています。

そして2021年、コロナ禍の日本では少子化が加速しています。経済低迷で収入減や失業が増え、不安による妊活や不妊治療の先送りした家族もいます。このままいくと出生数は80万人を切る可能性が考えられます。

いま企業として、安心して子育てできる環境を支えるために何ができるか？ダッドウェイはお客さまにとって何が大切かという観点をつねに考え、商品やサービスの提供や開発をすすめてまいります。

ダッドウェイのあゆみ

- 1991年 ● 白鳥公彦・由紀子が父親の育児支援をコンセプトとするダッドウェイプロジェクトを立案し試作品を作り始める。
- 1992年 ● 10月1日 (株)ダッドウェイ創立。横浜市神奈川区菅田町に営業所を開設し、自社開発の抱っこひも「2WAYベビーホルダー」はじめ27品目の販売を開始。育児用品メーカーとして第一歩を踏み出す。
- 1994年 ● ベビーバッグ社製「フリース」を発売開始。日本のベビー市場で初めてフリース製品を紹介。
- 2001年 ● 「Sassy」が「赤ずぐ」誌上にデビュー、カラフルな知育玩具が大反響に。
- 2004年 ● 「Petstages」販売開始。ペット業界に参入。
- 2006年 ● オリジナルブランド「Solby」がブランド展開開始。
- 2008年 ● ハワイ生まれの抱っこひも「Ergobaby」を導入。ユーザーの支持を受け大ヒット。
ドイツ No.1 ほ乳びん・おしゃぶりブランド「NUK」販売開始。
- 2009年 ● ダッドウェイ創立20周年。物流倉庫の自社運営を開始。
- 2012年 ● オリジナルアパレル「DADWAY Apparel」デビュー。
- 2013年 ● (後に D.fesense に改名)
オリジナルデザインレーベル「D BY DADWAY」発売開始。
- 2015年 ● オリジナルのペットブランド「FAD」「FAD+」発売開始。
室内遊び場「DADWAY PLAYSTUDIO」オープン。
- 2016年 ● 創立25周年記念「感謝の記」プロジェクト。
- 2017年 ● 「Ergobaby OMNI 360」グッドデザイン賞受賞。
(株)ダッドウェイホールディングス設立。
- 2018年 ● 「よこはまグッドバランス賞」7回継続賞。
「横浜健康経営2018」クラスAA認証事業所。
アフタースクール「ダッドウェイラーニングセンター横浜関内校／新横浜校」、親子カフェ「バイタルミールズバイダッドウェイ」オープン。
- 2019年 ● 「Ergobaby EMBRACE」グッドデザイン賞受賞。
- 2020年 ● サブスクリプションサービス「famisub!」オープン。



2WAYベビーホルダー



Sassy



ergobaby



NUK



D.fesense

ダッドウェイのCSR

「自分は何のために生きているのだろうか？」という自問自答するように、「ダッドウェイは何のために存在するのだろうか？」と私たちは問い続けます。それは、お客様、お取引先様、社員はもとより、いまを生きるすべての家族の幸福のために〈新たな価値を提供し続ける〉ことであり、そのために今日の社会全体のさまざまな課題に対して積極的に取り組むことです。

少子高齢化、格差拡大、環境問題、動物との共生など、持続可能な社会の阻害要因に対してアプローチすることは、新たなビジネスチャンスを得て、事業のあり方を改善することに繋がると考えています。いきいきとおもしろ楽しく仕事ができる環境を整えながら、社会課題の解決と事業収益を両立させ、企業の存続へと繋げる「戦略的 CSR」を実践していきます。CHO（Chief Health Officer）である副社長を筆頭に「マネジメント・システム」を構築してPDCA サイクルを仕組化します。

持続可能な社会へ
commitment to sustainability

家族の幸福

ライフコンセプト

子どもが生まれ、育み、一緒に生きていく過程を通じて、愛、生きる喜び、悲しみ、苦しみ、苦しみの意味、意義を真剣に考え続け、家族みんながより良い人生を歩んでいこうとする考え方

活発生命体

マネジメントシステム
(経営方針・就業規則・マニュアルなど)

企業姿勢・行動規範

企業理念

企業理念

お父さんの子育てをもっとおもしろ楽しくしたい！
ペットとのふれあいをもっとおもしろ楽しくしたい！
笑顔あふれる家族でいっぱい。
ダッドウェイはしあわせな家族づくりをお手伝いします。

活発生命体とは

チャレンジ精神と行動力旺盛な「活動推進力」、豊かな発想に富む「発想不思議力」、生への感謝の気持ちを忘れない「生感共生力」、命を畏敬して全うする「命尊立命力」、自己を大切にする「体育自愛力」の5つの造語の集合体です。ダッドウェイ社員の一人ひとりが、これら5つの力にあふれるダイナミックな「活発生命体」であることを心がけています。

企業姿勢

- ・ライフコンセプト（life-concept）を提唱し、家族の幸福を応援します。ダッドウェイが提唱する「ライフコンセプト」とは、子どもが生まれ、育み、一緒に生きていく過程を通じて、愛、生きる喜び、悲しみ、苦しみの意味、意義を真剣に考え続け、家族みんながより良い人生を歩んでいこうとする考え方と定義します。
- ・センス オブ ワンダー（sense of wonder）をキーワードとし、好奇心、探求心、向上心を大切に、実行を重んじます。
- ・未来のために先祖、両親を敬い、孝行します。
- ・お取引先様、社員およびその家族の幸福の最大化を目指します。
- ・オープンでフェアな企業行動を心がけ、誠実で信頼される企業を目指します。
- ・ダッドウェイで働く全ての人の個性を尊重し、いきいきと楽しく、おもしろく仕事ができる企業を目指します。
- ・円滑なコミュニケーションを心がけ、チームワークと総合力の向上に努めます。
- ・自然を慈しみ、地球環境をたいせつにする企業を目指します。

安心・安全

品質／顧客対応

●品質を向上し、安全を第一に

育児用品の「品質方針」「製品安全方針」の実践

コーポレートサイトに掲載している「品質方針」「製品安全方針」「海外の規格・基準に基づく玩具の安全検査」「事故の未然防止」に則り、2020年度の有責重大製品事故およびリコール件数「0」を達成しました。

●お客様・お取引先様に価値ある体験を提供します

ECサイトリニューアル／サブスクリプションサイト「famisub!」オープン

実店舗の購買履歴など顧客情報が集約される [ECサイト](#) をリニューアルさせ（11月）、お客様のユーザー体験の品質をより向上させます。また新しい育児用品を月額で手軽に試せる「[famisub!（ファミサブ）](#)」を開始（12月）。子育て課題のワンストップソリューションサービスの第一弾として「ergobaby（エルゴベビー）」の抱っこひもの提供を始めました。



オンライン展示会・インスタライブの開催

大規模な合同展示会や自社主催の展示会の中止を受け、お取引先様向けに [新商品の紹介と商談をオンライン展示会](#) で実施。また店舗休業中、一般のお客様向けにも、商品のご案内やご試着ができないことから、インスタライブのニーズが高まりました。ライブ中のご質問やご要望にもお応えするなど双方向なコミュニケーションを継続。[エルゴベビー公式Instagram](#)（フォロワー 5.2万人・2021年3月現在）[ダッドウェイ公式Instagram](#)（同 2.3万人）の総再生回数は約 10 万回を超えています。



お客さまとのコミュニケーション、相談窓口の満足度 95%

「相談窓口の応対品質」「問合せの解決度合い」についてお客様より高い満足度を獲得（2020 年度当社ウェブアンケート調べ／回答者数 450 人）。今後は要望の多かった動画通話の導入（LINE/Google Meet）を通じて、より丁寧な対応を心がけます。

商品・サービスなど本業を通じた継続的な CSR 事業

アフタースクール事業の「[ラーニングセンター](#)」、飲食事業の「[バイタルミールズ](#)」では感染防止対策を講じながら地域に「放課後の子どもを預けられる場とお習い事の両立」や「親子のくつろぎの空間」のサービス提供を継続。「[プレイスタジオ横浜](#)」では室内遊び場を一時休止して「BOOKCAMP」をコーナー展開、2000 タイトルにおよぶ絵本の取り扱いを行いました。

また自社の物流倉庫事業では、お取引先様の声に一層応えるべく外販売上を獲得する「営業倉庫」機能を拡大させます。



2020 年度の主な受賞

2020 年度グッドデザイン賞受賞

新生児期に特化した「ergobaby（エルゴベビー）」新モデル「EMBRACE（エンブレース）」



第 13 回 ペアレンティングアワード受賞

オリジナルブランド「BabyHopper（ベビーホッパー）」の「空調ベビーカーシート™」



ママリ口コミ大賞 2020 春 【おしゃぶり部門】

NUK（ヌーク）おしゃぶり各シリーズ



ママリ口コミ大賞 2020 秋 【0 歳向け絵本部門】

KADOKAWA Sassy のあかちゃんえほん にこにこ



環境

●自然を慈しみ、地球環境を大切にします

国内外メーカーとの協働と自社の取り組み

環境保全に向けた事業を正規販売する国内外メーカーと協働し、自社のオリジナルブランドにおいても推進しています。2020 年はマンチキン社製「ミラクルカップ」の動物柄シリーズ「ワイルドラブ」を販売開始。リサイクル素材 100% のパッケージのドリンクカップの売上の一部が、国際動物福祉基金（IFAW）やクジラ保護区プロジェクトへ寄付されます。

またオリジナルのペット用品ブランド「FAD（ファッド）」オーガニック国際繊維基準を満たした「オーガニック・ペットベッド」、「オーガニック・ペットブランケット」は、ペットにも環境にもやさしいサステナブルな製品です。



〈継続事業〉

- ・ディズニーの木製玩具シリーズ「Disney KIDEA（キディア）」
第三者森林認証制度を行う FSC® マークの木材を使用。
- ・磁石が入った積み木ブランド「Tegu（テグ）」
最貧国のひとつホンジュラスの自然保護と地元の雇用創出。
- ・タイの木製玩具メーカー「Wonderworld（ワンダーワールド）」
マングローブ植林事業（ツリープラス プロジェクト）の推進。



©Disney

全国 25 店舗でのプラスチック包装の削減

プラスチック素材の削減のために、非木材紙のショップバッグを全店で採用。またラッピング袋はお客様が再利用しやすい丈夫でおしゃれなコットン製です。環境対応パッケージを通じて「フォレスト基金」に協賛。植林・森林保護に寄与しています。



環境団体の継続支援

公益財団法人かながわトラストみどり財団、NPO 法人道志水源林ボランティアの会に寄付して、地域の緑と水資源保護を支援しています。写真（かながわトラストみどり財団提供）は三浦市小網代の森の風景。



●オープンでフェアな企業行動を心がけ、誠実で信頼される企業を目指します

商品等表示管理体制の再構築

弊社が供給する「ergobaby（エルゴベビー）」の「ADAPT」、「OMNI360」、「ORIGINAL」及び「360」の各抱っこひもが景品表示法に違反するとして措置命令（2019年）を受け、社内でワーキンググループを組織（4月）。商品等表示管理規程、商品等表示管理規程施行規則の策定と全社員向けの景表法の勉強会（12月）を行い、表示管理体制の再構築を進めています。なお課徴金納付命令を受理、完了し今後も再発防止に取り組んでまいります。

オンライン経営計画発表会

期首初めに第16期経営計画発表会（3月）をオンラインで発信。社員・金融機関向けに発表される経営計画書において財務諸表が公開され、その年の経営目標が共有されました。

さらに社内体制の強化と事業継承の準備の一環として社内取締役2名が就任（4月）。



12年連続黒字決算。社外取締役の招へい

コロナ禍において大幅な経費圧縮と夏以降の販売回復で、12年連続黒字決算を達成。また顧問の会計事務所から社外取締役1名を招へい、財務体質をより強化しました（4月）。

横浜銀行の「横浜こどもホスピス支援私募債」を通じて地域貢献



「横浜こどもホスピス うみとそらのおうち」は、生命を脅かす病気の子どもの学び、遊び、憩い、やってみたいと思うことを叶え、その子の「生きる」を支える「第2のわが家」。2021年秋の開所に向けてNPOと自治体が連携するプロジェクトです。発行金額の0.2%相当額が横浜銀行から同プロジェクトへ寄付されます。「横浜こどもホスピス支援私募債」発行を通じて、地域企業と共にSDGs達成に貢献しています。

情報セキュリティ規程の改訂と新設

社員のリモートワークの効率的な運用を意図する「情報管理規定」「情報機器管理規定」を改定（10月）。また社員が個人保有の携帯用機器を職場に持ち込み、それを業務に使用するBYOD（Bring your own device）に関する規定や、国税関係書類の保存方法を定めた「電子取引データ管理規定」を新設（12月）。一連の改訂と新設で在宅勤務を推進しました。



働き方

雇用／労働安全衛生

- いきいきとおもしろ楽しく仕事ができる環境づくりを通して、お取引先様、社員およびその家族の幸福の最大化を目指します

9年連続新卒採用および高齢者・障がい者の雇用

時差出勤の拡充と在宅勤務制度、オフィスのフリーアドレス導入

新しい生活様式における「やりがいのある仕事」と「健康で充実した私生活」の調和を目指して賃金規定を改定。テレワーク勤務規定の新設（8月）と、新横浜本社のフリーアドレス化を導入（1月）。実施後の全社員対象のストレスチェック集団分析（総合健診センターヘルチェック調べ）では、高ストレス者の割合が昨年比10%減（17%→7%）

システム導入による業務改革

Google Driveによる社内システムの整備はじめRPA(Robotic Process Automation)の導入で売上集計など定型業務を自動化。また管理部門の対応窓口をchatbot化するなど業務効率化を図りました。



- 円滑なコミュニケーションを心がけ、チームワークと企業の総合力が向上する「ウェルビーイング経営」を実現します

オンライン社内報「PPER」の配信

コロナ禍で個業化がすすみ、社内コミュニケーションの重要性が高まるなか、会社のニュースから社員のパーソナリティまで動画コンテンツを中心に毎月更新。カジュアルな発信で産休・育休中の社員とも情報共有（週平均200PV）しました。



ファミリーディ、初のオンライン開催

社内で働くすべての方を対象にファミリーディを実施（1月）。緊急事態宣言下、初のオンライン開催で社員の各家庭とつなぎ、お絵かきや絵本読み聞かせ、プレゼント抽選会をライブ配信。ご家族50組以上が参加、お子さんなども参加した活気のある会でした。



社会貢献

地域貢献／地元活用・地元志向

●子どもや若者たちのキャリアを応援します

初のリモート社会科見学

自社の物流倉庫（千葉県野田市）事業を地域住民の方々に知ってもらおうと、毎年開催している川間小学校2年生の社会科見学。本年は教室とオンラインでつなぎ、倉庫内をクイズに答えながら児童たちに探検してもらう「リモート社会科見学」を提供しました（11月）。



●様々な団体と協働し、地域課題を解決します

ここみて COVID-19 港北

新型コロナウイルスの影響で産前産後を対象にした行政サービスの中止が相次ぐなか、災害・緊急時に必要な[地域情報のプラットフォーム](#)づくりを支援（7月）。横浜市港北区と締結した子育て分野の連携協定事業の一環です。



日産スタジアムの赤ちゃん休憩室・キッズエリア

横浜マリノス株式会社と協働し、サッカー観戦を安心してご家族に楽しんでもらおうと、赤ちゃん休憩の室内装飾や、[コンコース内キッズエリア](#)に玩具を提供（11月）。地元開催の2試合は多くのお客様で賑わいました。



横浜市中区のんびりんこの「たまごの会」

中区子育て支援拠点「のんびりんこ」主催の[プレパパ・ママ講座「たまごの会」](#)に、スタッフが「おもちゃ・育児用品の選び方セミナー」を提供（11月）。コロナ禍の中で、冬に出産予定の妊婦さん同士の対話を促し交流を深めました。

「公益財団法人そらぶちキッズキャンプ」にステッカー提供

難病の子どもたちに自然体験を提供するキッズキャンプが中止になるなか、長期入院中の子どもたちに向けて、病室で楽しめる北海道の動物のウォールステッカーと応援メッセージを、同団体の協力を通じて全国 29 の医療機関にお届けしました（7 月）。



横浜市内の児童福祉施設での取り組み

児童福祉施設のクリスマスや季節行事に、スタッフが outgoing 演奏会を開催（12 月）。子どもたちや職員の方々と音楽の交流を行いました。また「NPO 法人横浜こどもホスピス」通じクリスマスに横浜市立大学附属病院の小児病棟で過ごす子どもたちへ玩具提供しました（12 月）。



●災害からの地域復興を支援します

令和 2 年 7 月豪雨災害へ支援金

激甚災害発生時において「財政援助等に関する法律」第二〇条の適用を目安に災害支援活動を継続。避難所暮らしの支援金の他に、離乳食メーカーや乳児衣料、玩具などを提供しました。



写真／熊本助産師会 facebook

●情報発信（講演・メディア掲載等）

社 長：書籍「無常識 ゼロベースで生きる」幻冬舎MC刊（2020年3月）

副社長：厚生労働省 男性の育児休業取得促進事業検討委員（2020年4月～2021年3月）

実践研修イクボスのススメ Zoom WEBセミナー（2020年11月～2021年2月）

社 員：白山高校特別授業「出産、育児、子育て」（2021年1月）



●寄付先団体

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン／公益財団法人ジョイセフ／社会福祉法人真生会 白百合ベビーホーム／公益社団法人 神奈川県助産師会／NPO 法人 ファザーリング・ジャパン／公益財団法人そらぶちキッズキャンプ／公益財団法人 かながわトラストみどり財団／NPO 法人道志水源林ボランティアの会／東日本大震災支援ライブ「笑顔をつなぐチャリティプログラム」／みんなのレモネードの会／公益財団法人 日本盲導犬協会／一般社団法人 盲導犬総合支援センター／社会福祉法人 日本介助犬協会（順不同）

●会社概要

(2021年3月現在)



会社名	株式会社ダッドウェイ
英語名	DADWAY, INC.
本社	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目15番12 TEL 045-471-3443 (代表)
ウェブサイト	http://www.dadway.com
創業	1992年10月
資本金	3,000万円
決算月	2月
代表取締役社長	白鳥 公彦
従業員数	296名
事業内容	ベビー用品・玩具・スポーツ用品・アウトドア用品・ペット用品等の企画・開発ならびに輸入・製造・販売、コンピュータシステム・ソフトウェアの研究開発とその販売、イベントの企画・運営、ロジスティクス業務並びに輸出入代理業、不動産の賃貸管理業、コンサルティング業、アフタースクール・学習塾・レッスン教室の経営
取引金融機関	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、千葉銀行、横浜銀行、静岡銀行、東日本銀行、横浜信用金庫、城南信用金庫、商工組合中央金庫、日本政策金融公庫 (金融機関コード順)

● stores

東京：二子玉川ライズ、東京ソラマチ、ららぽーと豊洲、コピス吉祥寺、有明ガーデン、北千住マルイ、南町田グランベリーパーク 神奈川：DADWAY LIFE DISCOVERY 横浜ベイクォーター、マークイズみなとみらい、テラスモール湘南、DADWAY LIFE DISCOVERY ららぽーと海老名 北海道：札幌ステラプレイス 関東近郊：さいたま新都心、イオンモール水戸内原 東海：タカシマヤゲートタワーモール、ららぽーと名古屋みなとアクルス、ららぽーと愛和東郷 関西：DADWAY Ergobaby ルクア大阪、なんばパークス、ららぽーとEXPOCITY、ミント神戸 中国：ゆめタウン広島、DADWAY LIFE DISCOVERY LECT 広島 九州：福岡VIORO、マークイズ福岡ももち

ベビー・キッズ室内遊び場 / 親子カフェ

神奈川：DADWAY PLAY STUDIO YOKOHAMA (室内遊び場)、VITAL MEALS BY DADWAY (親子カフェ) 関西：DADWAY PLAYSTUDIO NAMBA (室内遊び場)

● schools

神奈川：DADWAY LEARNING CENTER 新横浜、DADWAY LEARNING CENTER 横浜関内



横浜型 CSR 認定 (地域貢献企業認定制度)

2021年4月 最上位認定
地域と共に成長・発展を目指す企業や事業体を認定する制度。



横浜健康経営認証

2019年度 クラス AA 2回目認証
従業員等の健康保持・増進を实践する事業所を横浜市が認証する制度。



よこはまグッドバランス賞

2018年度 7回継続賞
男女がともに働きやすい職場環境づくりを進める中小事業所を横浜市が認定する制度。